

中期経営計画2020

高速道路は我が国の大動脈として生活・経済活動に欠かせない重要インフラであり、NEXCO西日本グループは24時間365日、この高速道路の機能・サービスを間断なく提供する使命を担っています。当社グループはこの使命を全うするため、新しいグループ理念(7ページ参照)のもと、2016年度からの5カ年の中期経営計画2020を推進していきます。

策定の背景と基本的な考え方

経営環境の変化



- 老朽化の深刻化
- 大型車、重量超過車両の増加



- 異常気象、災害の頻発化
(東日本大震災、熊本地震、南海トラフ・内陸直下型地震への懸念)



- 次世代エネルギー普及の促進
- 自動運転の実現



- 地域創生の推進
- 訪日観光客の増加
- 生産性の向上への期待

3つのキーワード 「安全・安心」「信頼」「成長」

「安全・安心」の追求が基本

- 社員一人ひとりがリスク感度を高め、高速道路における「安全・安心」という基本のサービスを最優先に、高い品質でお客さまにお届けします。
- 重要な社会基盤である高速道路ネットワークを強化し、健全な状態で次世代へと継承します。
- 24時間365日高速道路の機能を保持するとともに、異常気象や災害・事故に対しても迅速に対応し、間断ない交通の確保に向けた防災対応力を高めます。

「信頼」されるサービスと組織運営を目指す

- NEXCO西日本グループは、社員一人ひとりがコンプライアンスを重視し、社会から信頼され必要とされる組織となるように努めます。
- 地域の魅力や特性と高速道路ネットワーク機能との相乗効果により高速道路の価値最大化を目指すと共に、地域から期待される事業を展開します。

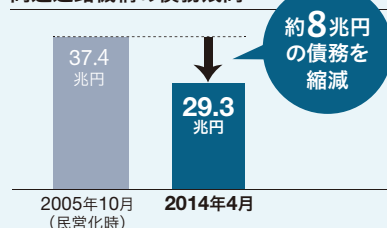
地域と共生し、持続的な「成長」を目指す

- 高速道路ネットワークの価値を最大化する取り組みを継続し、地域と共に100年先の未来まで持続的に成長していきます。
- 高速道路を取り巻く環境の変化に適切に対応し、グループ一体となって進化し続けます。

民営化後の主な成果 日本道路公団の分割民営化、NEXCO3会社の設立から10年。着実な成果を上げています。

有利子債務の確実な返済

高速道路機構の債務残高



早期かつ極力少ない国民負担による整備

開通前倒し

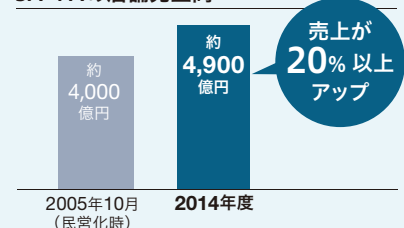
平均 4 カ月

建設コスト縮減

約 7,400 億円

民間のノウハウの発揮による多様なサービスの提供

SA・PAの店舗売上高



※ 主な成果に記載する数値はNEXCO3会社の合計値

主な重点施策

① 100年後も安心して利用できる高速道路

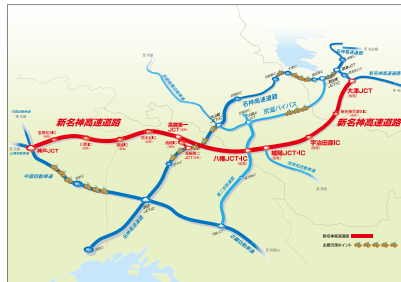


高速道路リニューアルプロジェクトに着手



プレキャストPC床版への取り替え工事

② 高速道路ネットワークの機能強化



新名神の建設を推進



新名神 武庫川橋の建設状況

③ お客さまと地域の皆さまに愛されるSA・PA



賑わい空間の創出



地域の魅力を発信

④ 工事の安全対策の徹底



新たに設置した「安全管理部」を中心にリスクマネジメントを推進

⑤ 大規模災害など緊急時への備え



防災訓練(段差補修訓練)の様子

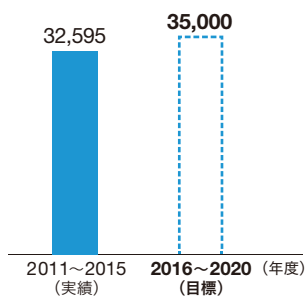
⑥ 熊本地震の本格復旧



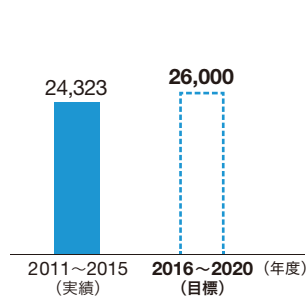
大分道 切土のり面崩落箇所

経営目標

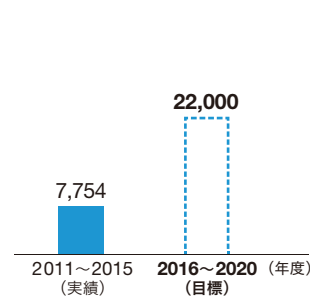
料金収入 (単位: 億円)



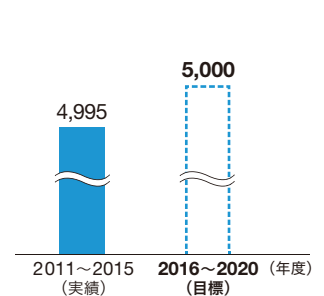
道路資産賃借料 (単位: 億円)



道路資産完成高 (単位: 億円)



SA・PAの店舗売上高 (単位: 億円)



※「道路資産賃借料」「道路資産完成高」についての詳細は、4ページの「高速道路事業とNEXCO西日本の役割」をご覧ください。